



マンスリー
MONTHLY
キョウクトー VOL.530

発行／極東産機株式会社 〒679-4195 たつの市龍野町日飼190 ☎(0791) 62-1771
 編集／極東産機株式会社 ホームページアドレス <https://www.kyokuto-sanki.co.jp/>



※コロナウイルス感染症対策として広い空間で撮影時のみマスクを外し、時間を最小限に抑えて感染リスクの低減を図っております。

「正しく恐れる」とは？

新型コロナウイルスの「二つの影響」が大変なことにならざるを得ない。それは、①「感染の拡大」そのものと、それを受けての②「各種のイベント等の中止、および出張出勤の自粛等の行動の制約」である。確かに感染者は急速に広がり、死者数も増加しているが、①に関して、かつての新型インフルエンザとの正確かつ冷静な比較・検討もさほど行われないまま、②の過剰・いや異常とも思われる対策のみが、日に日にエスカレートしているのが現状ではないだろうか。

ウイルスは、当然目に見えず、どこにいるかわからない。そのことが不安と恐怖を生み出し、テレビのワイドショーが「本日も○県で感染者が発生！」「感染者が旅行した経路は△！」と更にそれを煽る。一方SNS上には虚偽の情報が溢れ、あげくの果ては、「集団ヒステリー状態」ともいふべき愚挙（＝トイレットペーパー等の買い占め）に走っている。

正確な情報がどこで得られるのか皆目見当がつかないために、専門家が繰り返し述べる「正しく恐れる」ことの難しさを痛感せざるを得ない。多くの人が集まる懇親会・展示会等のイベントが軒並み中止に至っているのはもちろん、客先訪問までを自粛し、あるいは自粛を求められるケースも出てきているようだ。「感染のリスク」以上に大きな「別種のリスク」が全国的に拡がっているとしたら、これは由々しき問題であろう。

入手困難な状態が続いているマスクは、適正な使用で感染のリスクを軽減できようが、電車内でスマホ操作者と同率（90%以上？）のマスク姿の乗客を見ていると、マスクには、「実質的効果」の他に「心理的効果」があるようと思われる。つまり、周囲と隔離された自分だけの空間が確保されるという安心感と、周囲と同じマスク姿でいるという安心感である。

後者の安心感は、今我々を覆っている「中止」「自粛」続きの一種異様な雰囲気の中で、マスクをしてじっと息をひそめていればいいという「無気力」「意欲低下」を招くのではないかと危惧する次第である。

今我々は、息をひそめている場合ではない。たとえ得意先の展示会が中止になつても、それに代わる提案を行うべきであるし、客先訪問が行いづらい場合でも、SNS等を活用した販促策を企画・実施すべきなのである。睡眠と食事をしっかりとつて、たとえ感染しても発症しないような良好な体調を維持しつつ、なおかつマスク姿の集団の中にあっても前向きの意欲を持ち続け、従来の営業スタイルを思い切って変えてでも、本来の職務を全うする……それが出来て初めて、名実共に新型コロナウイルスに「打ち勝つた」と言えるのではないだろうか？

期待の新戦力

令和2年度 入社式

[4月1日 本社]

代表取締役社長 順 安 雅 樹

「二つの影響」とは、①「感染の拡大」そのものと、それを受けての②「各種のイベント等の中止、および出張出勤の自粛等の行動の制約」である。

●畠事業部

長崎県雲仙市

みぞぐち畠インテリア様

「両用ロボットVICTORY」と「畠美人II」に大満足!

長崎県雲仙市は、島原半島西部に位置する人口4・2万人、2万世帯の町です。みぞぐち畠インテリアの店主溝口敏一様は5代目で、明治時代から続く老舗の畠店です。



平成27年、内装の下請け仕事がメインで、利益が上がらない状況でした。何かやらなければと悩んでいた時、奥様から極東産機の構造改革「事例集35」のご注文をいただきました。

平成28年5月に福岡県で開催した当社セミナーに初めて参加され、「本当にこんなうまい話があるのか」と半信半疑でしたが、熊本県の畠店様を見学され、田舎でも仕事が増えることを確信されました。

同年11月に構造改革を決断され、「マルチロボットKT II」を導入し、コ



トされました。トされま機械導入で作業効率が上がり、作業時間が短縮され、営業活動の時間がどれ、畠仕事に専念できる様になりました。そして、個人客掘り起しのために積極的なPR活動をした結果、売上が前年の1・5倍に増えました。

安定して売上利益が伸びた事で、息子さんが後継者になるために、福岡県畠訓練校で学んでいらっしゃいます。

令和元年には、「ものづくり補助金」にチャレンジして見事に採択され、「両用ロボットVICTORY」と「畠美人II」を導入されました。

令和2年1月に開催させていただいた「繁盛畠見学会」では、お一人

ンサルティングをスタートされました。トされる様になりました。そして、個人客掘り起しのために積極的なPR活動をした結果、売上が前年の1・5倍に増えました。

来年に戻って来られる息子さんのために「さらに営業に力を入れていきます」と力強いお言葉をいただきました。

アッピしていただける親子で、これからも、しっかりとサポートさせていただきます。



この度はお忙しい中取材にご協力いただき、誠にありがとうございました。今後ともみぞくち畠インテリア様の益々のご発展をお祈り申し上げます。

畠事業部
主任 谷口 靖典

●畠事業部

2020年開催レポート

「繁盛店に学ぶ畠店経営セミナー」

1月18日 埼玉会場

夫婦で「構造改革」を実践中です!

埼玉県和光市

代表 高橋 広様

「構造改革」をスタートし、「クロス工事中心」のお店から「一般個人畠中心」のお店に進化しました。奥様も畠作りができるようになり、ご夫婦二人で協力して、売上2倍、3,000万円を超えました。

方法がわかり、国産畠表が中心となり良い商品が売れるようになります。長男が後継者として「福岡畠高等職業訓練校」で学ぶようになったので、工場を拡大し、法人化を目指したいです。

川辺畠店 代表 川辺 泰博様

で、売上全体の61%を占めています。今後は、年商1億円、顧客件数15,000件を目指します。

2月22日 熊本会場

親子3人で「第2次構造改革」を実践中です

熊本県球磨郡

代表 川辺 泰博様

方法がわかり、国産畠表が中心となり良い商品が売れるようになります。長男が後継者として「福岡畠高等職業訓練校」で学ぶようになったので、工場を拡大し、法人化を目指したいです。

川辺畠店 代表 川辺 泰博様

で、売上全体の61%を占めています。今後は、年商1億円、顧客件数15,000件を目指します。



1月25日 長崎会場

小さな商圈でも「構造改革」で仕事は増える

長崎県雲仙市

みぞぐち畠インテリア

代表 溝口 敏一様

一人で経営し、クロス仕事が中心でしたが、「構造改革」を決断後は、畠とふすま仕事を中心にし、売上・利益が大幅に増加。新規個人客の獲得



2月1日 愛知会場

岡崎「ありがとうございます!」

畠屋さんを目指します!

愛知県岡崎市

株實吉 永田 翔敬様

代表取締役 永田 修敬様

昭和61年生まれの33歳

で、2014年27歳の時

に代表取締役に就任。積極的な「設備投資」と「営業活動」により、一般個

2001年に構造改革をスタートしました。昨年1年間で、売上を大幅アップしました。まだまだ畠仕事は増やせると確信しました。

川辺畠店 代表 川辺 泰博様

で、売上全体の61%を占めています。今後は、年商1億円、顧客件数15,000件を目指します。



畠事業部
部長 熊橋 武彦

・ソーラー・エネルギー部

蓄電池システム・V2Hシステム

固定価格買取期間が満了し、太陽光発電システムの活用方法が変化していく今、蓄電池システムやV2Hシステムが注目されています。今回はその設置事例を紹介します。

事例2

蓄電池システム

〔事例2〕
蓄電池システム
京セラ製太陽光発電を
約22年前の設置。なんと、
その間の故障はありません
でしたが、今後も太陽
電池モジュールの活躍に
期待し、パワコン取り替
え及び蓄電池システムを
導入し新たに15年保証も
スタート。屋内設置が可
能なシャープ製蓄電池シ
ステム6・5kWhを設
置していただきました。

災害時には自宅を避難所
にしたいとの考えで三菱
製V2Hシステム導入を
していただきました。そ
れにより、発電電力をE
Vにためたり、EVから
家庭に給電が可能になり
ました。また、自宅で2
00V急速充電も可能に
なります。

事例
1

蓄電池システム

有効活用したいとの考え方からシャープ製蓄電池システム4・2 kWhの設置に踏み切られました。同時設置のHEMSで天気予報・気象警報も自動でキヤッチし賢くサポートしてくれます。

事例3

V2Hシステム
シャープ製太陽光発電

ネルギー部
主任 吉田 峻明



私は、昭和61年2月に中途採用で入社し、新卒採用の方と一緒に入社式に参加させていただき、同じスタートラインに立てた喜びと意欲を感じていた思い出があります。各工場での研修が終わり、第二工場（島田工場）に配属が決まり、製造機の部品管理や原価管理の業務を行なうことになりました。最初は、図面を読むことが出来なかつたので、部品収集や現場への部品供給に時間をかけ過ぎて、よく先輩の方に手伝つてもらい迷惑を掛けてしまいました。また、現場の方に図面の見方を一から指導していただきまし

課でした。棚卸が近づくと毎日深夜まで部品の整理整頓を行ひ憂鬱でしたが、大変家族的な雰囲気の工場だったので、和気藹々と作業をしていました。当時は手計算や手書き作業が多くよくミスを起こし上司に叱られ落ち込む時期もありました。が、失敗により気付くことが多く、会社に貢献できる様に改善提案をしていました。34年間勤めてこられたのも先輩方の支えが有つたからです。感謝の気持ちで一杯です。これからも身体が続く限り頑張りますので、宜しくお願いします。

が毎年の楽しみである。
「最近の若者は自分から学ぼうとしない」という声を聞く。一理あるが、もしかすると「人は放つておいても勝手に育つ」という思い込みの裏返しなのかもしれない。

就職という人生の節目で当社を選んだ若者たちに対し、私たちはそれ相応の“人を育てる”覚悟ができているだろうか。改めて見直してみたい。

座右銘▶失敗は成功のもと

人を育てる
花粉情報がニュースで取り上げられるころ、4月から始まる新入社員研修の計画に取りかかる。企画する側にとっては毎年のことだが、新入社員にとっては人生一度きりの大切な研修。どんなに忙しくても手を抜くわけにはいかない。

入社したてはまだ幼さの残る新入社員たち。研修が進むにつれて少しずつ「社会人」の表情に変わっていく様子を見るのが毎年の楽しみである。

「最近の若者は自分から学ぼうとしない」という声を聞く。「理あるが、もしかすると「人は放つておいても勝手に育つ」という思い込みの裏返しなのかもしれない。

就職という人生の節目で当社を選んだ若者たちに対し、私たちはそれ相応の「人を育てる」覚悟ができているだろうか。改めて見直してみたい。

赤とんぼ

総合企画室
室長 頃安 憲司